令和6年度
日野市中央公民館の
運営の状況に関する評価書
(令和5年度事業)

市民の暮らしに寄り添いながら
市民のつながりの中に“学び”を生み出す

令和6年9月
日野市中央公民館

目 次

1. はじめに	1
2. 評価の目的	1
3. 公民館の現状	1
(1) 施設	1
(2) 貸室利用状況（令和5年度）	1
(3) 組織・職員	2
(4) 主な業務	2
4. 評価の実施方法	2
5. 評価の対象	2
6. 評価の結果	3
公民館運営審議会の総評	3
公民館の自己評価	4
7. 評価表	6

資料

I 公民館事業	18
II 日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱	29
III 公民館運営審議会委員名簿（第29期）（第30期）	30

参考

令和4年度、令和5年度講座等参加人数	31
--------------------	----

1 はじめに

平成 20 年 6 月に「社会教育法」が改正され、運営の状況に関する評価等として、「公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」とされました。また、これに先駆けて平成 15 年には、公民館の設置及び運営に関する基準において「公民館は、事業の水準の向上を図り、当該公民館の目的を達成するため、各年度の事業の状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表するよう努めるものとする。」とされてきたところです。

これらを受け、公民館では平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から公民館の運営状況に関する評価を実施することにしました。

2 評価の目的

この評価は、公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深めるとともに、連携及び協力の推進に資するため、そして、効果的で市民・利用者に信頼される公民館事業を推進することを目的に行います。

この目的遂行のため、公民館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとします。

そして、評価結果に基づき公民館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 公民館の現状

(1) 施設

名 称	延べ床面積	開 館 日	所 在 地
中央公民館	704 m ²	昭和 41.7.1	日野本町 7-5-23
中央公民館高幡台分室	953 m ²	平成 16.4.21	程久保 550 教育センター内

(2) 貸室利用状況（令和 4 年度）

名 称	部屋の名称	年間利用者数
中央公民館	実習室、ホール、視聴覚室、小会議室、講座室 A・B、調理実習室、保育室	30,616 人
中央公民館高幡台分室	講座室 1～6、実習室、和室 ※講座室 6 は、11 月 1 日より貸出しを中止（保護司会に一時期、明渡し）	16,711 人

(3) 組織・職員 ※令和6年3月31日現在

2係（管理係・事業係）

正規職員 6人

再任用職員 3人

会計年度任用職員 2人

コミュニティワーカー 1人

(4) 主な業務

- ・公民館運営全般
- ・公民館活動（成人・高齢者・青少年対象の講座等）の企画運営
- ・公民館関係資料の収集、保存及び作成
- ・公民館施設の貸し出し管理等

4 評価の実施方法

評価を行うにあたっては、社会教育法で設置が謳われている公民館長の諮問機関である第29期、及び第30期公民館運営審議会委員の意見を伺いながら行いました。本評価は施策評価であるため、事業別の評価資料を作成した上で、それに基づき公民館運営審議会委員に課題・問題点と評価の提起をいただき、評価を総括いたしました。

5 評価の対象

評価の対象は、「令和5年度中央公民館基本方針」にある3つの基本目標から各施策9項目、及び重点施策3項目を対象といたしました。

(1) 基本方針

第2次日野市公民館基本構想・基本計画～市民の暮らしに寄り添いながら市民のつながりの中に「学び」を生み出す～目指す姿とし、基本計画に基づいて事業を展開する。公民館が市民にとって自由で民主的な学びの場として機能させるために諸条件の整備・充実をすすめる。

市民がまなびの主体であると同時に、まなびを作り広げる主体として、公民館事業に生き生きと参加・参画できるように、各種事業を企画・運営し、情報提供や相談業務などの充実を目指す。

(2) 基本目標と施策

① ～市民の日常生活に寄り添って～

豊かな暮らしをつくる「学び」を生み出す

- ・市民の暮らしに寄り添った学びの循環づくり
- ・「学び、学びあい」による生きがいづくり

② ～誰一人取り残さずに～

「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ

- ・地域をステージに、自ら考え、ともに行動する学びを実現する
- ・地域の社会的資源を生かし、学びを通して暮らしの課題解決を支援する
- ・暮らしと地域に結びついた安全安心な社会をつくる

③ ～まちの未来に向かって～

世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す

- ・子どもから大人まで切れ目のない学びを創造する
- ・平和な暮らしと社会を支える意識を育み、未来につなぐ
- ・さまざまな地域資源や学習の機会・場の情報共有を充実させる
- ・まちの自然・歴史・文化に親しみ、多世代間で知恵を交流する

(3)重点事業

- ①コロナ禍によって停滞・分断を余儀なくされた地域団体（公民館登録サークル・NPO法人等）、市民の学び・交流のつながりを結びなおすため、必要な情報発信力・コーディネート力を強化しながら実施する事業の充実
- ②学校教育との連携を強化し、日野の魅力的な社会的資源を活用して学ぶ機会を提供し、日野の未来を支える子どもたちを応援する環境づくりや、地域交流を促す事業の充実
- ③多摩市との広域連携事業「たま学びテラス事業」による情報連携の強化、持続可能性のある他市間交流事業の運営体制への発展

6 評価の結果

《公民館運営審議会からの総評》

令和5年度は、第2次日野市公民館基本構想・基本計画の計画期間5年のうち4年目にあたる。公民館の事業実施にあたっては、令和5年3月にマスクの着用に関する政府の方針が変わり、同年5月には新型コロナウイルス感染症の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられたことに伴い、少しずつではあるがコロナ以前の生活スタイルに戻りつつある。

本事業評価では、年度ごとに基本計画の進行管理をしており、3つの基本目標に連なる9つの施策と3つの重点施策について、それぞれ評価をまとめている。評価のための評価に陥ることなく、改善や発展のための評価となるよう、公民館職員による自己評価を基本に、公民館運営審議会との協議を経て、今後の具体的な改善策が示されている。評価のプロセスでは、公民館職員と公民館運営審議会委員が、市民や利用者の暮らしと学びにあらためて向き合うことを大切にしてきた。

- ① コロナ禍を経た暮らしの変化について、はっきりと自覚することができず現在の生活を送っている人は少なくないかもしれない。その中で人とのつながりの結び直しを中心とした取り組みが進められた。他方で、コロナ禍を経て高齢者の方々をはじめ公民館活動に参加しづらくなった人もいる。そうした

方々は、どうすれば公民館に再度足を運べるか、活動に一步踏み出せないでいる心情に寄り添いながら、新たな形の公民館事業を模索し実践してほしい。

- ② 市民にとって「集い」「学び」「結び」の場である公民館の役割に力点を置きながらも、市民一人ひとりの置かれている状況や事情に十分配慮しながら、市民と職員が立場や垣根を越えて、信頼関係を築きながら運営されていくことが重要である。また、コロナ禍において、隔たれた市民同士のつながりの結び直しや、市民の学びを支えていくために、地域の関係機関やキーパーソンとの橋渡し役としての機能を強化し、そのコーディネート力を発揮されることを期待する。
- ③ どのような市民を対象に学ぶ機会を創出する事業であるのか、そもそもなぜ公民館が行う事業であるのかなど、各事業の目的について、令和5年3月31日に公民館運営審議会から答申された「第2次基本構想・基本計画の中間検証（答申）」を踏まえ再考することは、公民館の存在価値を高めることにもつながると考えられる。

《公民館の自己評価》

1 公民館を取り巻く状況

令和5年度の中央公民館の利用状況は持ち直しているが、コロナ禍により分断された市民の繋がり結び直しは依然として急務である。そこで、疎外感をもつ市民に寄り添うため、子どものための居場所づくりや、若者世代のための事業の推進を行い、次世代を支える学びの種を蒔いていくことに注力した。また、多摩市との広域連携活動事業「たま学びテラス事業」も継続的な連携を見据えた事業の総括を行った。

(1) 令和5年度の事業実施状況

令和5年度中央公民館事業は、施策9項目及び重点施策3項目を踏まえ、事業数として84事業を展開した。公民館主催事業の参加人数は延べ18,271人、中央公民館施設利用者数延べ30,616人、高幡台分室施設利用者延べ16,711人となり、年間で延べ65,598人が公民館事業に関わったという結果となった。136.0%の実績数値となった。

(2) 令和5年度の重点施策について

令和5年度は、コロナ禍によって停滞・分断した公民館サークルや市民の結び直しのために、公民館サークル活動の情報発信の強化やサークル加入を促進講座などに注力した。

事例)：シニアICT事業

高齢者がデジタル格差に取り残されないために、「スマートフォン使い方

講座」を実施するとともに、市民がスマホの基本操作の教え方を学びボランティア講師となる「スマホお助け隊養成講座」を実施した。

：サークル支援事業 ひの切り絵サークルと「切り絵入門講座」

また、未来を支える子どもたちを応援する環境づくりを行うために、小学校への講師派遣や学校をステージにした講座なども実施した。

事例)：「星空を学ぼう！～月と星のおはなし」

：「大人だって知りたい！これからの資産形成」

そして、多摩市との広域連携活動事業では、協働した日野市と多摩市の公民館は、共にその成果に手ごたえを感じたため、継続を検討していく。

事例)：たま学びテラス（多摩市との広域連携活動事業）「調布玉川惣画図を歩く」

：たま学びテラス総括イベント「若宮正子氏講演会・成果展示」

2 令和5年度の課題及び今後の展望

(1) 学校教育と地域のつながりについて

令和5年度にも、小学校に公民館事業の講師が出張する講座や、小学校を会場とした保護者向け講座を実施した。しかしながら、各地域の学習ニーズを掴み切れず、開催数は縮小する結果となった。今後、生涯学習課から中央公民館へ「家庭教育学級事業」が移管される予定である。その際は、中央公民館のネットワークを活用して各地域のPTA「家庭教育学級部会」を支援すると同時に地域の学習ニーズの収集も同時に行っていく。

(2) 子どものための居場所づくりについて

令和3年度から5年度まで、子どもの支援活動を行う地域団体の思いやノウハウを紹介するセミナーを実施してきたが、今後は多摩市との広域連携活動の実績を踏まえ、地域全体で子どもを支援する仕組みの構築を行っていく。

(3) 令和5年度は、本来であれば第2次日野市公民館基本構想・基本計画（以下「基本計画」と言う。）の計画期間5年のうち4年目にあたり、基本計画を総括する時期ではあるが、令和元年度より猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の蔓延の影響により、基本計画のロードマップに対する進捗に支障を来してしまった。これを受け、公民館と公民館運営審議会で協議を行い、基本計画の計画期間の延長を行い、「市民に寄り添うこと」「市民と職員が確かな信頼関係を築くこと」を重要課題とし、市民同士のつながりの結び直しの再構築を図り、新たな公民館を構築するための期間としていく。

7 評価表

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表		
事業項目	基本目標（1） 市民の暮らしに寄り添いながら市民のつながりの中に学びを生み出す	
事業の概要		
1【施策】 市民の暮らしに寄り添った学びの循環づくり	経費	【謝 礼】615,200 円
【課題】 ○職員は地域のコーディネーターとして、市民同士、または他機関との連携を深め、市民一人ひとりが生涯をとおして学べる仕組みを構築していく。	延べ 参加 人数	22 事業：897 人
事業の成果		
<p>○「ひの市民大学」は、市民企画委員による企画を基に、市近隣の各 5 大学と検討を進め、市民が学びたいことを学べる場を展開することができた。また、日々の生活に潤いを与えるような文化や芸術、市の歴史などのバラエティ豊かな企画を展開することができた。</p> <p>○「聞こえの講演会 加齢性難聴と補聴器」は、市高齢福祉課と協働し、加齢性難聴に関する基本的な事象について教わった。加齢による五官の様々な変調は、日々の生活において大きな悩みのひとつであると思われ、解決手段のひとつとして補聴器の購入方法や、購入費助成なども聞くことができた。また、アンケートからは白内障など、他の器官についての開催希望を多く聞かれた。</p>		
公民館運営審議会の意見		
<p>【施策全般】 豊富な種類、且つ昨年度の意見を踏まえたシリーズ化を意識した企画も立案されている。シリーズ開催においてアンケートを途中でも取るなど、学習者の声に耳を傾けて事業を展開しようとしている点が素晴らしい。 また、参加対象年齢の幅が広く、世代間交流や新規利用者へのアプローチができている事業もある。なお親子参加型の事業はぜひ継続し、保護者はもちろん、幼児期から「学びの循環」を意識できるような事業内容を企画してはどうか。</p> <p>【事業個別】 ○「ひの市民大学大学連携コース」は、今後も市民のニーズを取り入れた講座を展開してほしい。また、「絵本の選び方 お散歩するように絵本を読もう」は、A I 時代に改めて絵本の大切さを伝えてほしいし、今後も妊婦から小学生向け対象まで、幅広いテーマの講座の企画を期待している。</p>		
事業の課題と改善策		
<p>市民の学習ニーズや生活実態の把握に努め、企画に反映できるようにしていく。また、大学や団体などとの連携も継続していく。加えて、公民館に関心を持つ人々が参加するきっかけを作るため、職員・利用者が積極的に情報発信していくことも重要であると考えている。そこで、市民の要望や関心に沿う「市民の関心」を形にした講座を検討し、情報発信していく。</p>		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表		
事業項目	基本目標（１） 市民の暮らしに寄り添いながら市民のつながりの中に学びを生み出す	
事業の概要		
2【施策】 「学び、学びあい」による生きがいづくり	経費	【謝 礼】425,100 円
【課題】 ○サークルが自主的に、様々な取り組みに対応できるよう、他機関との連絡調整など、横断的なつながりを構築するための職員のスキルアップを図っていく。	延べ 参加 人数	9 事業：4,450 人
事業の成果		
<p>○「出張ゆるゆる手作りの会 in ひのっこあつまれ！まつり」は、公民館登録サークルがひの児童館まつりに参加して、サークル活動の紹介と、子育て世代（保護者）のつながりづくりができた。</p> <p>○「公民館まつり」は、「ひの新選組まつり」との同日開催とした。開催時には両イベントの相乗効果により、多くの来館者で溢れた。しかし、サークルによる飲食出店において保健所への届出が受理されなかった食品もあったため、初めて業者によるキッチンカーの導入を試みた。</p> <p>○公民館大掃除、高幡台分室和室大掃除と、どちらもコロナ禍後に初めて開催した。日ごろ、活動している施設への1年の感謝と、サークル同士・個人同士の交流の場として大いに賑わった。</p>		
公民館運営審議会の意見		
<p>【施策全般】 公民館サークルが「学びの循環」へ関与できている点を評価したい。単に公民館を貸館として利用しているサークルでは「学びの循環」に関わることは難しいと思われる。職員のコミュニケーション力、適切な支援の成果である。ただ、サークル構成員の高齢化や、子育て世代の社会復帰などに伴い、サークル会員が公民館に関わる時間を確保することが年々難しくなっていくと思われる。大きなイベントなどの事業の継続が今後厳しくなっていくことが予想されるが、市民に開かれた公民館であるために、引き続き新たな来館者が広がるよう努めてほしい。</p> <p>【事業個別】 ○「公民館まつり」と、ひの新選組祭りの同時開催は多くの人に公民館へと足を運んでもらう良い案だったと思うが、「学び、学びあい」の観点から考えると、もう少し実行委員会による運営の成果や課題について触れておいてほしい。</p> <p>○「大掃除」事業は、特にサークル側（利用者）の声から丁寧に組み立てられ、公民館についてオーナーシップを持つプロセスに関わるものである。多数のサークルが一堂に会して日頃の感謝、居場所を大切にす気持ちを改めて知る機会となった。さらに今後は、分室大掃除のように、小グループ単位で集い、短時間で気軽に参加できる形の交流の機会を意識して、用意する必要があると思われる。</p>		
事業の課題と改善策		
公民館活動に理解のあるサークルの存在は、公民館の円滑な運営において重要である。公民館活動をよく理解しているサークルを中核として、公民館サークル相互での学習事業や交流を深める事業を検討していく。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表		
事業項目	基本目標（２） 「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ	
事業の概要		
1【施策】 地域をステージに自ら考え、ともに行動する学びを実現する	経費	【謝礼】1,174,000円 【委託料】3,017,000円
【課題】 ○市内の市民講師等のキャリアを活かす場を模索していく。	延べ参加人数	12事業：762人 3委託事業：3,394人
事業の成果		
<p>○「スマホ相談サロン」、「スマートフォン使い方講座」などのスマホ事業を全52回開催した。令和3年度から開催している事業ではあるが、まだまだ需要のある事業と考えられる。さらに、学びの循環を構築するために「スマホお助け隊養成講座」も全5回開催した、市民講師を養成した。その結果、各地域に出向いて講座のサポートや、個別相談会などで活躍しており、学びの循環が実現している。</p> <p>○「ひまわり号プロジェクト」を昨年に引き続き開催した。地域の居場所を創っている移動図書館ひまわり号と連携した事業。ソーシャルキャピタル共創機構の協力を経て、市内生産の食品の紹介をするオープン講座を開催した。</p>		
公民館運営審議会の意見		
<p>【施策全般】 公民館は、あらゆる方の多様性や苦手部分を受け止め、理解度に合わせたサポートをすることで、教わったことが身に付き、今度は教える側になるという「学びの循環」を得られるのではないかと。「行動する学び」につながるような試みや取り組みを継続的に展開していくことで、誰もが参加でき、学びをとおして人と人、人とサークルとを結ぶことができる公民館という基本姿勢を維持してほしい。また、学校との連携講座は市内各校への展開を期待したい。子どもたちはもちろん、市内各校で働く教員の方々に公民館の存在や役割を知ってもらえる機会になると良い。</p> <p>【事業個別】 ○「スマートフォン使い方講座」はデジタル化が進む中、高齢者はもちろん、スマホに苦手意識のある方をデジタル社会に取り残さないよう、今後も継続してほしい。 ○図書館と協働した「ひまわり号プロジェクト」は、地域の人々が日ごろから集う公園に公民館が出向いていくという形態が評価できる。公民館の周知にもつながる取り組みであるといえる。今後の事業定着化を楽しみにしている。</p>		
事業の課題と改善策		
<p>継続的に実施していた事業がなされていないものがあるが、再開できるよう支援を行っていく。また、障がい者事業の「見える化」もすすめていく必要がある。例えば、「日野わーくわーく」とは、公民館まつりを通じて協力体制を図っているので、そのような団体、機関との連携を模索していきたい。</p>		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表		
事業項目	基本目標（２） 「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ	
事業の概要		
２【施策】 地域や社会的資源を生かし、学びを通して暮らしの課題解決の支援をする	経費	【支出】０円
【課題】 ○講座等の配分を検討していく。	延べ 参加 人数	項目・施策の 重複により 他に振り分け
事業の成果		
○当該施策の事業展開を活発に行うことができなかった（他の項目・施策に関連する事業はあり）。しかしながら、「LGBTQ 講座 ～学びの場から考える性の多様性への理解と支援」は参加者も少数ではあったが、「生きづらさ」について考える内容の濃い講座となった。		
公民館運営審議会の意見		
<p>【施策全般】</p> <p>具体的に対応する事業が無いことをどのように考えればよいか。当該目標・柱に対応する事業が他の目標・柱と重複している事業もあるので、目指す事業内容を複眼的に捉えていく必要がある。</p> <p>学びをとおして暮らしの課題解決を図ることは、必然的に暮らしの課題と真剣に関わりを持つようとする姿勢につながり、公民館を積極的に利用することにつながるのではないかと。これまでもアンケート等で市民のニーズなどを聞き取ってもらっているが、市民の暮らしの課題や困りごとなどをより多く把握できるよう、様々な市民と接する機会の多い職員に交流する機会を持ってもらいたい。そして、市民が、公民館での学びをとおして、自身の暮らしの課題を自ら解決できる力を養っていくには、公民館職員の市民への働きかけが大変重要であることを認識し、積極的に市民交流のきっかけづくりを行ってほしい。</p>		
事業の課題と改善策		
誰のために、何のために行う講座なのかということについて、講座受講後の参加者の姿勢を検証したうえで、全体的なバランスを図りながら事業展開していく必要がある。そのためには課会等をとおして事業の共有化を図り、職員が担当講座のみではなく、講座事業全体を意識する体制が必要である。また、公運審との意見交換によって、報告書に「参加者の声」や「職員の業務内容など」を示す項目を加える。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表			
事業項目	基本目標（２） 「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ		
事業の概要			
3【施策】 暮らしと地域に結びついた安全安心な社会をつくる	経費	【謝 礼】24,000 円	
【課題】 ○市民が我が事と捉えられるように、意識的・積極的に事業に厚みを加えていく。	延べ 参加 人数	1 事業：26 人	
事業の成果			
○「防災・減災シンポジウム 2023」は社会福祉協議会、ボランティアセンターと協働し、特に都市型洪水について学んだ。市下水道課から、近年の降雨量の増加によりインフラの規格が合わなくなってきている現状を聞くことができた。また、ワークショップでは下水道と用水の関連や、近隣住民同士のコミュニケーションの重要性、まちのゴミ拾いをとおした下水道の保全を学び、防災への心構えを培うことができた。			
公民館運営審議会の意見			
【施策全般】 防災は、市内全体で共通する課題もあれば、地区ごとの課題もある。防災に対する意識と行動の変容こそが重要であり、地域内や施設内で人と人とのつながりを持つておくことも大切である。そこで地域の自治会・町内会、保育所や学校、福祉施設などにも視野を広げて、市民の学びを基盤とした防災事業の充実を図ってほしい。さらに、「安全安心な社会の構築」という視点では、消費者問題や防犯など、日ごろの生活においても発生しうる内容もあるのではないかと。複数の課題を合わせて考えられるような内容にしてはどうか。例えば防災の専門機関や所管部署と連携していくことが公民館の役割だと思う。 繰り返しになるが、日野の地域特性として丘陵・河川があり、最近の気候状況から、水害・土砂災害などに対応する防災知識の更新は重要な内容である。そこで、地域の特性という視点で他市との連携事業の一環とするなど、別の方向で事業展開するのもよいのではないかと。また、発災後の生活を立て直す時の学びも重要と考えられる。			
【事業個別】 ○昨今、地域の自治会や防災会でも、災害時の「自助・共助」を掲げ防災に取り組んでいる。他地域、更に上の団体との交流の場、つなぐ役割を公民館が担っていったらと思う。			
事業の課題と改善策			
公民館が単独で課題に立ち向かうのではなく、日ごろから市民の暮らしと地域を支えている関係機関や関連団体との橋渡し役を担い、ネットワークの要になっていくよう努めていく。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表		
事業項目	基本目標（3） 世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す	
事業の概要		
1【施策】 子どもから大人まで切れ目のない学びを創造する	経費	【謝礼】 1,716,000円
【課題】 ○コーディネート、ファシリテートも公民館の役割である。市民との積極的な関わりから切れ目のない学びを創造していく。	延べ 参加 人数	22事業：7,325人
事業の成果		
<p>○新型コロナウイルス感染症により、中止を余儀なくされてきた「ひのアートフェスティバル」が4年ぶりに帰ってきた。役員はコロナ禍においても何とか開催できないものかと毎年度、検討を重ねてきたが、開催時期に近づくと「中止」の決定がなされつづけた。今年度は開催前3日間で桑ハウスアートギャラリーを実施し、アートを身近に親しんでもらえる機会を増やし、1,000人を超える来場者があった。また開催2日間は猛暑の中、大変な賑わいとなった。</p> <p>○「子どものための居場所づくりセミナー」は、市内の子どもの居場所の現状を情報共有することで、その活動に参加するきっかけづくりを行い、地域に多世代が参加できる学びの場などの創造支援をした。今回は「子ども食堂」「無料塾」「子どもの権利条約」をテーマに各実践者を講師として迎え、それぞれの課題や、実践する楽しみなど、生の声を聴くことができた。</p>		
公民館運営審議会の意見		
<p>【施策全般】 新型コロナウイルス感染症の影響により足踏みしてしまった事業も多いと思う。令和5年度は様々な動きがコロナ前の状態に戻ってきているので、アクセルを踏み込み、あらゆる企画にチャレンジしてほしい。多様なテーマで数多くの講座が開催されており、タイムリーな内容で実施されていることが分かる。 また、学びだけでなく、参加者同士のコミュニケーションを図ることができた事業もあった。今後も工夫しながら幅広く、切れ目のない学びのために長期的な視野で公民館の学びに市民を巻き込んでいけると良い。</p> <p>【事業個別】 ○「菜園スコミュニティ」は多世代交流としてのコミュニティ重視で是非サークル化を希望している。 ○「スマホひとつでできる。動画づくり講座」の学びを活用して、公民館の情報発信を検討してはどうか。加入者の減少が課題のサークルにとっても有効手段とはならないか。</p>		
事業の課題と改善策		
<p>子ども同士や、保護者を交えた多世代間のつながりの場を設けることを意識していく。「公民館を知ってもらい、利用してもらおう。」には、公民館として、切れ目のない学びを提供し続けるとともに、職員は、市民のコーディネーターとしての役割を認識し、市民一人ひとりの学びに寄り添って行く。</p>		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表		
事業項目	基本目標（3） 世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す	
事業の概要		
2【施策】 平和な暮らしを支える意識を育み、未来につなぐ	経費	【謝礼】 24,000円 【委託料】 140,000円
【課題】 ○憲法、平和、人権等の講座はその内容を工夫して、誰もが参加でき、楽しく学べるよう検討していく。	延べ 参加 人数	2事業：149人
事業の成果		
<p>私たちは、日ごろ憲法や人権、平和に守られていることを意識せずに生活しているが、いずれも欠く事のできない権利である。さらに、これらの事業は公民館の根幹として進めて行く事業である。</p> <p>○平和事業は、過去の日本の戦争体験に限らず、ウクライナやパレスチナなど現に争っている状況について、あらためて考えることができた事業である。明星大学演劇部、音楽ボランティアサークルなど多くの若者が参加した。さらに出征をテーマにした落語や、難民家族の姿を描いた演劇など趣向を凝らし、幼児や若者、高齢者まで全世代の幅広い参加が望める事業をとおして、争いのない世界を想うことができた。</p> <p>○市でも令和5年4月からパートナーシップ制度が開始されたが、当事者以外には関心が薄いものであると感じられる。LGBTQ講座は、あらゆる人に関心を持ってもらい、当事者をサポートする「アライ」になることで全ての人が暮らしやすい世の中になることを願って、公民館として人権啓発講座を継続していく。</p>		
公民館運営審議会の意見		
<p>【施策全般】 戦争・性の多様性・ハンセン病も含めて、これらの内容を考えるにあたり、戦争やハンセン病は昔の話、遠い国の出来事の話という印象を持っている方も多いのではないかと感じてしまう。また、性の多様性については少数派の人々の話という先入観を持ちやすいのではないかと感じてしまう。しかし、これらの課題には「人として生きることが、時代のタイミングによって簡単に覆されるものであり、自分たちで守っていかなければならない」ということが通底している。そこに焦点を当て、例えば、自分を大切に、相手も大切にする「お互い様」の気持ちを持つことが平和で暮らしやすい社会に繋がると思う。そこから考えられる一例として、複数の課題を横断した内容にすることで世代間の交流につながる事業を展開できるのではないかと。</p> <p>【事業個別】 ○「平和事業」では若い世代が参加し、趣向を凝らした公演を実施している。若い世代が動くことで幅広い世代に参加を促進していきたい。公民館の「平和事業」は、戦争を知らない世代の子どもたちを対象に、将来的に学校の教育課程と有機的に連携しながら展開していくなど、学社連携による実施体制の整備を検討してほしい。</p>		
事業の課題と改善策		
<p>憲法や平和に関する事業は公民館にとって本質的なものである。すべての方々にとって憲法や平和は身近なものであることを知ってもらう機会として、より親しみやすく、参加しやすい工夫を施していく。</p>		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表		
事業項目	基本目標（3） 世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す	
事業の概要		
3【施策】 さまざまな地域資源や学習の機会・場の情報共有を充実させる	経費	【謝礼】0円
【課題】 ○年間を通じて日常的に実施する事業として立案し、学びに関する情報を戦略的、総合的に発信、収集して取り組む必要がある。	延べ参加人数	1事業：184人
事業の成果		
○令和3年度から3か年の期間で実施している「たま学びテラス」事業は最終年となり、締め括りとして「たま学びテラス総括イベント」を開催した。総括イベントでは、基調講演に若宮正子氏による「実り多い豊かな人生 私は創造的でありたい 変化する時代を生き抜くための『学び続ける力』と題して基調講演を頂いた。3か年の成果を「たま学」として提唱し、日野市、多摩市の両市民がICTを活用した学びや、地域の歴史や自然等を活かした学びをパネル展の形で報告した。		
公民館運営審議会の意見		
【施策全般】 多摩市との連携、世代を超えて学びあう機会創出などの成果があったのは評価に値する。他市との広域連携活動事業に携わった人にとって、活動内容の幅が広がり、事業自体も子どもから大人まで実りのあるものになったと思う。今後も、市内の社会教育関連団体との更なる連携も重視して進めて欲しい。		
【事業個別】 ○日野市と多摩市の連携をとおして、地域の資源や課題の共通点と相違点に気づき、学習と活動の輪を広げていく取り組みが進められた。事業期間の終了後こそ重要であり、両市の公民館を軸とした輪を、広げ重ねていく取り組みに期待したい。 ○「たま学びテラス」総括イベントで登壇された若宮正子氏の基調講演は、本会場やライブビューイング会場の設置など多くの学びを深められたと思う。多摩市に限定せず、他市との交流の場での情報共有は今後も継続してしてもらいたいと思う。		
事業の課題と改善策		
社会教育機関など、市内にある生涯学習・社会教育の関連機関、部局との連携を進め、そのなかで公民館の役割をあらためて確認しながら、地域に根差し続けていくためのネットワーク形成や事業展開を図る。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表		
事業項目	基本目標（３） 世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す	
事業の概要		
4【施策】 まちの自然・歴史・文化に親しみ、多世代間で知恵を交流する	経費	【謝 礼】213,000 円 【委託料】334,000 円
【課題】 ○サークルに留まらず、社会教育関係機関、団体との連携も重要であるとする。共催企画など、職員のコーディネート能力の向上を図る。	延べ参加人数	10 事業：366 人 2 委託事業：718 人
事業の成果		
<p>○「日本の年中行事と稲作」講座は、稲作を取り巻く人々の暮らしぶりや、神事、各季節の行事を学んだ。学びの中に朗読や、案山子の飾り作り、しめ縄飾り作りなどを取り入れ、座学のみではなく楽しく学べる工夫を取り入れた。参加者はリピーターが多かったが継続開催の希望が多くあった。</p> <p>○「心地よくなって健康的エコ布ぞうりを作ろう」は、近年、入手しづらくなった藁に代わり、廃棄してしまいがちな古布を活用して身近な伝統技術を学んだ。報告書では「サークル化にならなかった」とあるが、担当職員の声掛けによりサークルを設立できた。今後の布草履講座の講師補佐となるようフォローしていく。</p> <p>○「調布玉川惣画図を歩く」は、たま学びテラス事業の一つとして開催した。前回の散策事業の反省を踏まえ、今回は初回にガイダンスを行った。このことにより、散策時は参加者同士が会話をし、盛り上がっている様子が見られた。また、多くの参加者から継続開催の希望と先々は観光ガイドグループ（案）の設立の声もあがった。</p>		
公民館運営審議会の意見		
<p>【施策全般】 市の地場産業、季節、伝統を取り入れた内容が多く、ここで学んだことを起点として交流する機会を創出してほしい。また、こういった伝統文化や行事を学ぶ講座は、社会教育団体を通じて、多くの人たちの参加できる工夫が必要であると感じた。さらにサークルや団体が自主的に企画し、公民館が学びの循環につなげられるような支援があったら良いと思う。</p> <p>【事業個別】 ○「田んぼの学校」や「蚕でつなぐプロジェクト」は、気候変動による稲作への影響や桑の葉の病気などを学ぶことができた。 ○ひのっ子シェフコンテストが第 17 回を迎え、コロナ禍を経て、オンラインも活用した形で実施されている。今後は公民館の他のイベントとも「食」を通して関連づけを図っていくことで、コンテストに完結しない公民館の取り組みとして発展させてほしい。</p>		
事業の課題と改善策		
<p>当施策は、市民にとっても関心をもって参加しやすい事業になっているように受け止められる。今後も事業の企画にあたって市の豊かな自然や文化、歴史等を活かし、企画段階から様々な世代（特に若い世代）への働きかけ、一人ひとりが地域の一員としてのアイデンティティが培われるような取り組みを図っていく。</p>		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表	
事業項目	重点事業（１） コロナ禍によって停滞・分断を余儀なくされた地域団体（公民館登録サークル・NPO 法人等）、市民の学び・交流のつながりを結びなおすため、必要な情報発信力・コーディネート力を強化しながら実施する事業の充実
事業の概要	
コロナ禍後の公民館の大きな課題として、市民同士のつながりの結びなおしがあげられる。学びの循環を個人に留めず、学びの循環の中から仲間を巻き込んでいくことを、公民館の各事業において意識していく。それには、職員が核となり市民との積極的な交流が鍵となる。	
事業の成果	
<p>第２次日野市公民館基本構想・基本計画の中間検証を踏まえた事業展開を行う中で、コロナ禍後の停滞、分断、世界情勢の不安定化が進んでいる現在、そのしわ寄せが若い世代の暮らしを圧迫している。そこで、公民館では「地域のハブ」として、学習を中心とした地域交流を促す施策を充実させ、若い世代への学習支援に注力した。</p> <p>○「子どものための居場所づくりセミナー」は、実際に活動する市民に居場所運営のハウツーを聴いた。子育て支援を行う市民や、子どもの支援を行う市民と協働して、子どものための居場所づくりを考える時間を市民に提供し、子どもや子育て世代を応援することができた。</p> <p>○「ゆめパのじかん上映会&ワークショップ」は、子どもの居場所とその可能性について対話した。</p> <p>○「心の安全基地を作る～おしゃべりしながら学ぶ、うちの子に合った子育て」は、保護者が家族に気持ちを伝えるアサーティブコミュニケーションを学んだ。</p>	
公民館運営審議会の意見	
<p>【施策全般】</p> <p>事業全体を見ると若い世代への学習支援だけではなく、重層的な事業の評価もできると思われる。例えば、新型コロナウイルス感染症期に停滞気味であったサークル活動の支援や高齢化を踏まえての多世代交流や、他団体との協働、講座参加者によるサークル化の支援体制や事業の工夫は評価できる。</p> <p>ただ、現役世代などの公民館未利用者・利用頻度の低い市民への、「学びの循環」に対する働きかけは充分とはいえない。アンケートの聴取内容や活用方法、公民館未利用者のニーズの把握、効果的な発信方法など、更なる検討を進めてほしい。</p> <p>【事業個別】</p> <p>○「安心できる場所がありますか？『ゆめパのじかん』から考えよう」や、「心の安全基地をつくる～おしゃべりしながら学ぶうちの子にあった子育て」は、子育て世代を応援する事業としてディスカッション、コミュニケーションができて良い事業である。</p> <p>○「子どものための居場所セミナー」はコロナ禍によって縮小しがちな地域のつながりが、新たに子育て支援を行う市民等と連携をするにあたり有意義な事業だと思う。子どもだけでなく、いろいろな世代が対話できる場が理想である。</p>	
事業の課題と改善策	
地域のハブとしての機能の充実が求められる中、公民館の機能として、コーディネート力は職員の重要なスキルであると考えている。市内のあらゆる場所で、様々な活動を行っている団体等との連携により、公民館を知ってもらい、ひいては社会教育の大切さを伝える努力を行っていききたい。	

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表

<p>事業項目</p>	<p>重点事業(2) 学校教育との連携を強化し、日野の魅力的な社会的資源を活用して学ぶ機会を提供し、日野の未来を支える子どもたちを応援する環境づくりや、地域交流を促す事業の充実</p>
<p>事業の概要</p>	
<p>小・中学生をメイン対象に公民館講座に、「参加してみよう。」と思うキッカケづくりと、「公民館」の存在を知ってもらい、自然と社会教育活動に馴染むことができるよう配慮している。居住地域でのあらゆる交流をとおして、社会や地域に思いが向き、主体的に学ぶ機会に出会える仕組みづくりを支援する。</p>	
<p>事業の成果</p>	
<p>日野の魅力的な社会的資源を学校教育とその現場に組み込み、子どもたちや地域住民のため学習を提供することで、学校と地域のつながりを促進することができた。</p> <p>【事業個別】</p> <p>○「日野第六小×公民館 月と星のおはなし」は、市内の小学校と協働し開催した。2 時限を使って、主にふたご座流星群の話を中心に実施し、学校教育と連携した学びを提供することができた。</p> <p>○「大人だって知りたい！これからの資産形成」は、第一小学校を会場に保護者を対象とした金融講座である。</p> <p>○「夏休み小学生あつまれ！わくわく学習術」の1コマで、日野第一中学校を会場に元Vリーグ選手とバレーボールを通じた交流を行った。そこで一中のバレーボール部員をアシスタントとして協力を要請した。参加した子どもたちも楽しいひと時を過ごしたが、アシスタント部員は真剣に技などを教わっていたのが印象的であった。なお、講座終了後にアシスタント部員とミニ交流戦を行い大いに盛り上がった。</p>	
<p>公民館運営審議会の意見</p>	
<p>【施策全般】</p> <p>市内には小中学校全 25 校あるが、今後は学校との連携に面としての広がりを目指す。子どもメインの事業や、親子対象の事業だけでなく、多世代が同時に参加できる事業も学校で展開してみてもどうか。そのことが、「地域に開かれた学校」にも通じ、市民が持つ地域資源を学校での学びに組み込むことにもつながるのではないかと考える。また、開催手法として保護者会後や学校公開日に開催することも検討してはどうかと思われる。地域、社会資源、学校をつなぐことは公民館の重要な役割のひとつであると考えている。</p> <p>他方で、大学との連携は多様に進められている。今後は、市内に所在する高校ないし市内の高校生との関わりにも目を向けつつ、公民館からの直接・間接の働きかけを通して、単発の事業や一拠点での開催に留まらない、総合的な学校連携の取り組みの展開を期待する。</p>	
<p>事業の課題と改善策</p>	
<p>小・中学校との連携はとても重要であると考えている。また、子ども関連部署との連携を図ることで、多面的な地域交流事業の充実が図られる。多様な大人たちの交流の姿を子どもたちが感じ、学べるような仕組みの検討や、職員同士の協力、公民館利用者への働きかけも重要である。</p>	

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表	
事業項目	重点事業（3） 多摩市との広域連携事業「たま学びテラス事業」による情報連携の強化、持続可能性のある他市間交流事業の運営体制への発展
事業の概要	
多摩市と日野市が連携して、ICT事業の充実、多摩地域の大学等との連携、両市民を巻き込んだ交流・学習意欲の向上を図る。また、豊かな暮らしを実現するために、持続可能な交流を図り、広域的な社会教育支援を行っていく。令和5年度は3か年事業の最終年である。	
事業の成果	
<p>「たま学びテラス」により、2市民はICTを活用した新しい学びの形や、多摩地域の歴史・自然等を市民交流につなげることができた。今後、その成果を「たま学」として提唱し、多摩地域に広く周知することで、多摩地域の住民ゆるやかな学びのネットワークを拡大していきたい。</p> <p>【事業個別】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ひの市民大学大学連携事業」は、多摩地域の市民が参加できる市民大学事業の仕組みとして、2市それぞれの市民がオンラインで参加できる遠隔学習の仕組みを構築した。 ○「スマホひとつでできる！動画づくり講座」は、身近なデバイスであるスマートフォンを用いて動画制作を学び、積極的な情報発信を行う人材の育成を図った。 ○「調布玉川惣画図を歩く」は、多摩市指定有形文化財の絵巻物「調布玉川惣画図」の内、日野市、及び多摩市にスポットを当て、当時との比較（風景等）を楽しみながら歩く体験型学習により2市民の交流を図った。 ○「たま学びテラス総括イベント～ゆるくつながる、学びの一步！」は、事業の成果発表として展示、中学生向けプログラミング体験会、多摩市の高校生にプログラミングキット「スクーミー」を学んでもらい、高校生が中学生にプログラミング体験の指導を行う体験イベントを実施した。また、若宮正子氏講演会「実り多い豊かな人生 私は創造的でありたい～変化する時代を生き抜くための“学び続ける力”」を基調講演の講師として開催した。 	
公民館運営審議会の意見	
<p>【施策全般】</p> <p>「たま学びテラス」は3年間の実績として、市域を超えた連携事業であり、遠隔学習の仕組みの構築や、社会的資源を活用した体験型学習を実施できた。この成果を持続的に継続し、他の近隣自治体との連携へと発展を望む。また“学び続ける力”の大切さをより多くの人に周知してほしい。さらに、今後どのように継続・発展するかということは注目される。将来的に漫然としたテーマではなく、複数の市・市民が一緒に学ぶ意義を必ず明確にしてほしい。</p>	
事業の課題と改善策	
日野市と多摩市の地域や、両市民とどのような関わりを中長期的に構築していくかについて具体的なビジョンを描いていく。当事業は令和5年度をもって完了したが、多摩市との連携が切れないう、職員同士や、市民との関係を絶やさぬよう、事業終了後の展開と方向性の検討を進めていく。	

公 民 館 事 業

1 公民館事業(10・5・4)

区分	事業名	開催日	会場	講師・出演	参加延べ人数
成人・高齢者事業	・日本の年中行事と稲作～田の神様を迎える天道花の飾り作り～	4.22 (全1回)	中央公民館	枝川 寿子 馬場 寛明	23
	・菜園ス コミュニティ(春夏)	4.26～7.19 (全7回)	中央公民館 高幡台分室	佐藤 聡明	66
	・「ビートルズ日本盤の軌跡」講座	5.17、5.24 (全2回)	多摩平交流 センター	鈴木 佳行	43
	・多摩の山々 トレッキング入門	5.21～6.25 (全5回)	中央福祉センター 中央公民館 景信山	富岡 伸次 澤登 均	104
	・日本の年中行事と稲作 稲の生長を祈る水口まつりの 飾り作りと朗読	5.27 (全1回)	中央公民館	枝川 寿子 江川 みえ子	19
	・出張ゆるゆる手作りの会in ひのっこあつまれ！まつり	5.28 (全1回)	ひの児童館	菱山 裕子	50
	・生ごみリサイクルで菌ちゃん 野菜づくり	6.10、6.17 (全2回)	中央公民館 せせらぎ農園	佐藤 美千代	16
	・～日本の誇るおもてなし文化を 学びませんか？～ 茶道入門	6.16～7.7 (全4回)	中央福祉センター	成松 和子	53
	・程久保うたごえパーク	6.17～3.16 (全8回)	中央公民館 高幡台分室	樋口 周子 村田 美果	85
	・～心と体を元気にする～ ハーブ生活を始めませんか？	7.1 (全1回)	中央公民館	小早川 愛	29
	・心の健康レシピでストレス軽減	7.29 (全1回)	中央公民館	田浦 秀一	25
	・菜園ス コミュニティ (2023秋)	9.15～12.6 (全7回)	中央公民館 高幡台分室	佐藤 聡明	64
	・防災・減災シンポジウム2023	10.7 (全1回)	ふれあいホール	西本 サチ子 遠山 良徳	26
	・日本の年中行事と稲作 稲の刈り上げを祝う 亥の子・ 十日夜～案山子づくりと朗読～	10.14 (全1回)	中央公民館	枝川 寿子 平野 久子	20
	・大人だって知りたい！ これからの資産形成入門	10.28 (全1回)	日野第一小学校	川口 由美	11
	・日野宿ひな巡り 古布でつくる 端午の飾り～鯉とわらべ～	11.2～11.30 (全4回)	中央公民館	大竹 裕子	67
	・オンリーアート工作	11.11～12.23 (全4回)	中央公民館 高幡台分室	なし	18
・おとなの手作り絵本講座	11.14、12.12 (全2回)	中央公民館	小澤 緋奈子 奈代 千栄美	25	

区分	事業名	開催日	会場	講師・出演	参加延べ人数
	・令和5年度 子どものための居場所づくりセミナー	11.19～1.21 (全3回)	① 日野宿交流館 ②③ 中央福祉センター	①宮崎 雅也 ②仁藤 夏子 ③藤浪 里佳 栗澤 千富美	65
	・認知症の人の理解とケア～正しい理解で幸せに暮らそう!～	11.25 (全1回)	中央公民館	宮本 芳恵	17
	・筆文字で綴る年賀の言葉	12.6～ 12.20 (全3回)	中央公民館	小熊 廣美	42
	・中央公民館×田んぼの学校 お正月のお飾り わら細工づくり 講座	12.9 (全1回)	中央公民館	尾形 重男 生沼 和彦	20
	・日本の年中行事と稲作 年神様 を迎えるお正月の飾りづくり	12.23 (全1回)	中央公民館	枝川 寿子 馬場 寛明	24
	・～心地よくなって健康的～ エコ布ぞうりを作ろう!	1.20 (全1回)	中央福祉センター	高橋 さゆり	10
	・心の安全基地をつくる ～おしゃべりしながら学ぶ、 うちの子にあった子育て～	2.20～3.5 (全3回)	中央公民館	伊藤 晶子 上田 清美	29
	・聞こえの講演会 加齢性難聴と補聴器	3.6 (全2回)	多摩平交流 センター 福祉支援センター	矢沢 由多加	63
	・初心者のためのやさしい 水墨画体験講座	3.14 (全1回)	中央公民館 高幡台分室	佐藤 忍	12
	・「ぼくたちの哲学教室」 上映&ミニワークショップ	3.20 (全1回)	Tree HALL	なし	36
	・ころすつきり マインドフルネス入門	3.29 (全1回)	Tree HALL	三塚 志歩子	25
事業 (成人・高齢者 人権)	・人権の森と史跡めぐり 国立 ハンセン病資料館等見学ツアー	3.10 (全1回)	多磨全生園	稲葉 上道	25
	・LGBTQ講座 ～学びの場から考える性の 多様性への理解と支援	3.24 (全1回)	中央公民館	藤山 新	4
事業 (成人・高齢者 委託)	・外国人のための日本語教室 (3コース)	4.1～3.31 (全116回)	中央公民館 福祉支援センター	日野国際友好 クラブ	2,182
	・田んぼの学校	4.1～3.31 (全18回)	新町、南平ほか	田んぼの学校 運営委員会	668
	・公民館平和事業	8.6 (全2回)	多摩平交流 センター	公民館 平和事業 実行委員会	145
映画会	・「ゆめパのじかん」	2.18 (全1回)	Tree HALL	なし	56
障害者 事業 (委託)	・少年学級定例会、リトミック等	4.1～3.31 (全19回)	中央公民館 高幡台分室ほか	日野市 少年学級 親の会運営	424
	・青年・成人学級 定例会、分科会等	5.15～3.19 (全53回)	中央公民館ほか	障害者青年・ 成人学級仲間 の会運営	788

区分	事業名	開催日	会場	講師・出演	参加延べ人数
	・令和5年度 公民館まつり	5.13、5.14 (全2回)	中央公民館 中央福祉センター	公民館まつり 実行委員会と 共催	4,000
	・第24回ひの아트フェスティバル	8.19、8.20 (全2回)	仲田の森蚕糸 公園桑ハウス	ひの아트 フェスティバル 実行委員会と 共催	6,300
ひの 市民 大学	・浴衣の着付け ～ポイントをおさえて美しく	6.22、6.29 (全2回)	中央福祉センター	小泉 京子	16
	・絵本の選び方 お散歩するように絵本を読もう	9.26 (全1回)	多摩平交流 センター	井上 優子	19
	・香道入門～月見香を楽しむ～	10.17 (全1回)	中央福祉センター	立川 準	9
	・日野ゆかりの新選組と剣術	11.18 (全1回)	中央福祉センター	井上 雅雄	20
	・美味しい日本茶講座	11.28 (全1回)	中央公民館	池谷 香代子	11
	・おさんぽ×アート#2 日野駅編	1.27 (全1回)	中央公民館	田中 令 北原 章広 増田 卓哉 渡邊 涼	9
	・ラベルを味方に！食品ラベルの見 方教室	11.23 (全1回)	多摩平の森 イオンモール	青木 めぐみ	30
	・安心できる場所がありますか？ ～映画『ゆめパのじかん』から考 えよう～	2.18 (全1回)	Tree HALL	渡邊 涼 中島 愛子 藤浪 里佳 栗澤 稚富美 干場 英治 村井 知子 寺前 桃子 仁藤 夏子 佐藤 琢磨	40
	・食品ラベルの見方教室	2.24 (全1回)	中央公民館	青木 めぐみ	12
	・ボイス・トレーニング	3.3 (全1回)	中央公民館	柴山 晴美	27
・般若心経を説く	3.9 (全1回)	中央公民館	小澤 尚紀	26	
ひの 市民 大学 大学 連携 コー ス	・中央大学 SDGsと地球環境	11.4 (全1回)	平山交流センター	西川 可穂子	7
	・東京薬科大学 子どもたちのための薬剤師 セミナー！	11.11 (全1回)	東京薬科大学	堀 祐輔 大石 咲子	14
	・実践女子大学 実践女子大学の創立者の歴史～ 近代史としての女性の生き方～	12.2 (全1回)	多摩平交流 センター	広井 多鶴子	18
	・帝京大学 人生100年時代に求められる学 習・教育とは？～家族・学校・企業 を取り巻く変化に注目して	12.9 (全1回)	平山交流センター	居郷 至伸	19

区分	事業名	開催日	会場	講師・出演	参加延べ人数
	・明星大学 地球環境講座～気候変動を知っていますか？～	12.16 (全1回)	平山交流センター	亀卦川 幸浩	19
青少年事業	・子ども将棋指導対局	4.12～3.27 (全24回)	中央公民館	日野市将棋 サークル	374
	・公民館まんがクラブ ミリペンをつかってまんが イラストをかこう！	7.2 (全1回)	中央公民館	大瀧 めぐみ	8
	・夏休み子どもカーデザイン教室	7.27 (全1回)	日野自動車内 デザインセンター	日野自動車(株) デザイン部	12
	・心と身体で音楽を楽しもう リトミック講座	7.29、9.30 (全2回) 9.30は中止	中央公民館	山崎 詩奈子	10
	・夏休み講座「ゆらゆらモビールづくり」	7.30 (全1回)	中央公民館	中村 由紀子 高橋 勉	12
	・ダンボールアートをつくってみよう！	7.30 (全1回)	中央公民館	尾崎 恵美	11
	・夏休み小学生集まれ！！ 「わくわく学習術」	8.3～8.4 (全4回)	① 日野第一 中学校体育館 中央公民館 ② 市クリーン センター 西多摩衛生組合	① 芳賀舞波 下平夏奈 日野自動車 (株)親和会 ② 環境共生部 施設課職員 西多摩衛生 組合環境セ ンター職員	34
	・中央公民館×ひの児童館 ワンにゃんウッドクラフト講座	10.21 (全1回)	中央公民館	小林 朝七 ほか	32
	・冬休み書初め講座	12.26、12.27 (全2回)	中央公民館	柴田 雪香	39
	・～光るキノコを作ってみませんか？ ～ 親子 de 電子工作講座	3.2 (全1回)	中央公民館	角田 洋一	19
	・春休みプログラミング講座 Scratchを使ってゲームを作ろう！	3.23～3.31 (全4回)	中央公民館	矢ヶ崎 敏明	65
	・心と身体で音楽を楽しもう リトミック講座	3.30 (全1回)	中央公民館	山崎 詩奈子	8
青少年事業 (委託)	・第17回 ひのっ子シェフコンテスト	10.15 (全1回)	日野第一中学校	ひのっ子シェフ コンテスト実行 委員会	50
たま学びテラス 広域連携事業	・スマホひとつでできる！ 動画づくり講座	11.1～12.6 (全3回)	中央公民館	株式会社YCC	36
	・調布玉川惣画図を歩く	1.10～1.31 (全4回)	多摩市関戸公民館 多摩市散策 日野市散策	橋場 万里子 金野 啓史 株式会社YCC	72
	・たま学びテラス総括イベント	3.17 (全3回)	多摩市関戸公民館	若宮正子	184

区分	事業名	開催日	会場	講師・出演	参加延べ人数
シニアICT支援事業	・スマホ相談サロン	4.1～3.31 (全48回)	中央福祉センター 多摩平交流センター 福祉支援センター	なし	348
	・スマホお助け隊養成講座	7.3～7.21 (全5回)	中央福祉センターほか	株式会社 アミュー	64
	・スマートフォン使い方講座	11.8～11.10 (全4回)	平山交流センターほか	株式会社 アミュー	39
	・東京都令和5年度 高齢者向けスマートフォン利用 普及啓発事業 スマートフォン相談会	12.15 (全2回)	中央公民館	なし	10
アウトリーチ事業	・蚕でつなぐプロジェクト いっしょに蚕のこと 学びませんか	5.6～6.17 (全3回)	中央公民館、 仲田の森蚕糸 公園内桑畑	柳元 太郎	69
	・蚕でつなぐプロジェクト いっしょに蚕のこと 学びませんか Ver.2 「まゆからの糸取り体験」	9.16 (全1回)	中央公民館	柳元 太郎 茂木 暖子 山口 慶隆 小杉 博司 小杉 美津子 秦 哲子	24
	・蚕でつなぐプロジェクト いっしょに蚕のこと 学びませんか Ver.3 「桑の木の皮による和紙づくり体験」	11.18、1.13 (全2回)	中央公民館	柳元 太郎 西海 元樹	53
	・第六小学校×中央公民館 星空を学ぼう！ 「月と星のおはなし」	10.13 (全2回)	日野第六小学校	村山 孝一	146
居場所づくり	・居場所こむこむ	4.20～3.21 (全12回)	中央公民館談話室	こどもへの まなざしママ会 サークル どーなつ	400
	・令和5年度 中央公民館大掃除	12.16 (全1回)	中央公民館 屋内/屋外	なし	118
	・高幡台分室「和室」大掃除	12.16 (全1回)	中央公民館 高幡台分室	なし	7
	・ひまわり号プロジェクト	3.28 (全1回)	万願寺中央公園	なし	25
企業連携	・明治安田生命保険相互会社協働	10.19～ 12.21 (全3回)	中央公民館ほか	谷本 美緒 大沼田 麻友 菊地 麻子	27

2 公民館利用状況(10・5・4)

(1) 中央公民館

ア 目的別利用数(年間)

公民館事業または中央公民館使用分		市民グループ（文化関係）		市民グループ（体育関係）		市役所関係		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
1,212	12,939	2,345	15,776	78	729	89	951	36	221	3,760	30,616

※ 陶芸窯利用20回 登録団体4サークル

イ 目的別利用数（月別）

月	公民館事業または中央公民館使用分		市民グループ（文化関係）		市民グループ（体育関係）		市役所関係		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	59	426	236	1,504	9	117	4	74	0	0	308	2,121
5	157	4,909	165	1,052	5	40	16	95	0	0	343	6,096
6	72	558	209	1,416	2	37	2	60	2	8	287	2,079
7	96	766	225	1,452	4	54	0	0	6	35	331	2,307
8	143	723	177	1,115	6	39	2	19	0	0	328	1,896
9	68	500	211	1,413	7	56	5	39	2	9	293	2,017
10	98	614	212	1,450	2	18	2	6	0	0	314	2,088
11	112	753	176	1,191	2	22	42	420	0	0	332	2,386
12	132	1,209	152	1,131	0	0	0	0	26	169	310	2,509
1	95	1,038	191	1,339	9	88	3	100	0	0	298	2,565
2	74	532	203	1,428	14	130	5	51	0	0	296	2,141
3	106	911	188	1,285	18	128	8	87	0	0	320	2,411
計	1,212	12,939	2,345	15,776	78	729	89	951	36	221	3,760	30,616

ウ 部屋別利用数（月別）

月	区分	講座室A	講座室B	視聴覚室	調理 実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
4	午前	64.0	68.0	56.0	52.0	36.0	88.0	60.0	44.0
	午後	88.0	88.0	76.0	20.0	44.0	84.0	80.0	8.0
	夜間	44.0	52.0	40.0	4.0	24.0	64.0	44.0	4.0
5	午前	78.3	73.9	73.9	78.3	65.2	82.6	69.6	39.1
	午後	91.3	82.6	87.0	39.1	65.2	91.3	69.6	26.1
	夜間	60.9	60.9	47.8	26.1	39.1	65.2	65.2	13.0
6	午前	46.2	42.3	65.4	34.6	38.5	88.5	65.4	38.5
	午後	80.8	73.1	76.9	19.2	38.5	80.8	65.4	7.7
	夜間	34.6	38.5	30.8	0.0	23.1	61.5	50.0	3.8
7	午前	80.8	65.4	69.2	57.7	42.3	84.6	73.1	42.3
	午後	80.8	80.8	73.1	26.9	53.8	92.3	42.3	26.9
	夜間	50.0	42.3	30.8	11.5	23.1	61.5	57.7	3.8

月	区分	講座室A	講座室B	視聴覚室	調理 実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
8	午前	53.8	53.8	69.2	42.3	53.8	92.3	61.5	23.1
	午後	80.8	57.7	80.8	42.3	73.1	80.8	65.4	23.1
	夜間	50.0	46.2	38.5	19.2	19.2	61.5	38.5	34.6
9	午前	56.0	48.0	56.0	40.0	48.0	84.0	56.0	36.0
	午後	72.0	56.0	64.0	28.0	60.0	68.0	56.0	8.0
	夜間	64.0	64.0	52.0	4.0	20.0	72.0	52.0	8.0
10	午前	57.7	53.8	88.5	42.3	38.5	80.8	69.2	50.0
	午後	57.7	53.8	80.8	38.5	50.0	88.5	61.5	23.1
	夜間	61.5	57.7	19.2	11.5	11.5	61.5	42.3	7.7
11	午前	66.7	66.7	83.3	62.5	45.8	95.8	54.2	41.7
	午後	75.0	62.5	95.8	41.7	58.3	95.8	79.2	25.0
	夜間	54.2	54.2	33.3	20.8	25.0	70.8	62.5	12.5
12	午前	75.0	70.8	75.0	75.0	62.5	83.3	62.5	25.0
	午後	79.2	83.3	79.2	45.8	58.3	95.8	70.8	16.7
	夜間	33.3	33.3	33.3	16.7	12.5	50.0	45.8	8.3
1	午前	58.3	58.3	75.0	54.2	50.0	83.3	70.8	33.3
	午後	87.5	75.0	83.3	33.3	58.3	83.3	70.8	4.2
	夜間	54.2	50.0	37.5	12.5	20.8	62.5	25.0	0.0
2	午前	65.2	60.9	78.3	30.4	52.2	82.6	69.6	43.5
	午後	82.6	78.3	91.3	26.1	65.2	91.3	69.6	17.4
	夜間	47.8	47.8	30.4	8.7	21.7	60.9	56.5	8.7
3	午前	69.2	61.5	65.4	50.0	30.8	96.2	73.1	26.9
	午後	84.6	73.1	80.8	34.6	53.8	80.8	73.1	23.1
	夜間	42.3	38.5	42.3	0.0	19.2	53.8	53.8	3.8
年間計	午前	64.1	60.1	71.1	51.3	46.6	86.9	65.4	36.9
	午後	79.9	71.8	80.5	32.9	56.4	85.9	66.8	17.4
	夜間	49.7	48.7	36.2	11.1	21.5	62.1	49.3	9.1

(使用日数/開館日数=%)

中央公民館高幡台分室
ア 目的別利用数(年間)

公民館事業または中央 公民館高幡台分室使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
103	784	2,000	12,100	392	2,845	122	982	0	0	2,617	16,711

※ 陶芸窯利用28回 登録団体7サークル

イ 目的別利用数(月別)

月	公民館事業 または中央 公民館高幡台 分室使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	2	0	186	1,021	30	206	3	28	0	0	221	1255
5	3	25	168	948	32	218	2	11	0	0	205	1,202
6	3	35	183	1,153	33	236	8	64	0	0	227	1,488
7	12	133	159	1,138	32	227	14	90	0	0	217	1,588
8	5	3	130	817	29	210	9	173	0	0	173	1,203
9	9	126	143	928	35	261	23	145	0	0	210	1,460
10	34	86	155	960	38	255	12	90	0	0	239	1,391
11	11	74	173	987	32	242	14	81	0	0	230	1,384
12	9	56	147	885	32	240	11	124	0	0	199	1,305
1	3	29	180	1,048	34	240	7	44	0	0	224	1,361
2	6	183	175	979	31	244	11	69	0	0	223	1,475
3	6	34	201	1,236	34	266	8	63	0	0	249	1,599
計	103	784	2,000	12,100	392	2,845	122	982	0	0	2,617	16,711

ウ 部屋別利用率(月別)

月	区分	実習室	和室	講座室1	講座室2	講座室3	講座室4	講座室5	講座室6
4	午前	24.0	68.0	92.0	80.0	64.0	60.0	68.0	0.0
	午後	20.0	32.0	72.0	72.0	52.0	60.0	80.0	0.0
	夜間	0.0	8.0	4.0	4.0	20.0	0.0	4.0	0.0
5	午前	26.1	73.9	91.3	87.0	52.2	56.5	60.9	0.0
	午後	26.1	43.5	78.3	82.6	34.8	69.6	69.6	0.0
	夜間	0.0	0.0	4.3	0.0	26.1	0.0	8.7	0.0
6	午前	23.1	65.4	76.9	88.5	57.7	50.0	57.7	0.0
	午後	23.1	34.6	69.2	80.8	53.8	76.9	69.2	0.0
	夜間	0.0	3.8	0.0	7.7	26.9	7.7	0.0	0.0
7	午前	30.8	65.4	84.6	50.0	65.4	57.7	57.7	0.0
	午後	23.1	53.8	65.4	50.0	57.7	73.1	57.7	0.0
	夜間	0.0	3.8	7.7	0.0	15.4	7.7	7.7	0.0
8	午前	26.9	69.2	80.8	42.3	46.2	38.5	50.0	0.0
	午後	15.4	30.8	73.1	38.5	30.8	46.2	57.7	0.0
	夜間	0.0	0.0	3.8	0.0	11.5	3.8	0.0	0.0
9	午前	36.0	72.0	88.0	52.0	52.0	60.0	64.0	0.0
	午後	28.0	44.0	64.0	56.0	52.0	64.0	72.0	0.0
	夜間	0.0	0.0	12.0	0.0	16.0	0.0	8.0	0.0
10	午前	38.5	69.2	80.8	61.5	53.8	53.8	57.7	0.0
	午後	38.5	46.2	76.9	65.4	46.2	73.1	69.2	0.0

月	区分	実習室	和室	講座室1	講座室2	講座室3	講座室4	講座室5	講座室6
	夜間	7.7	7.7	42.3	3.8	15.4	3.8	7.7	0.0
11	午前	37.5	66.7	83.3	70.8	54.2	62.5	70.8	0.0
	午後	29.2	37.5	66.7	66.7	75.0	66.7	70.8	0.0
	夜間	0.0	0.0	41.7	0.0	25.0	16.7	16.7	0.0
12	午前	50.0	75.0	75.0	50.0	62.5	54.2	45.8	0.0
	午後	45.8	33.3	75.0	54.2	37.5	66.7	54.2	0.0
	夜間	0.0	4.2	20.8	0.0	12.5	4.2	8.3	0.0
1	午前	41.7	70.8	79.2	54.2	66.7	62.5	75.0	0.0
	午後	37.5	45.8	66.7	58.3	50.0	66.7	75.0	0.0
	夜間	0.0	16.7	29.2	4.2	16.7	12.5	4.2	0.0
2	午前	34.8	73.9	73.9	69.6	52.2	56.5	69.6	0.0
	午後	26.1	52.2	78.3	78.3	65.2	69.6	73.9	0.0
	夜間	0.0	17.4	47.8	4.3	13.0	4.3	8.7	0.0
3	午前	42.3	69.2	80.8	65.4	57.7	57.7	65.4	0.0
	午後	38.5	50.0	84.6	73.1	46.2	73.1	73.1	0.0
	夜間	0.0	0.0	15.4	0.0	30.8	23.1	11.5	0.0
年間計	午前	34.2	69.8	82.2	64.1	57.0	55.7	61.7	0.0
	午後	29.2	41.9	72.5	64.4	50.0	67.1	68.5	0.0
	夜間	0.7	5.0	18.8	2.0	19.1	7.0	7.0	0.0

(使用日数/開館日数=%)

3 公民館運営審議会(10・5・4)

(1) 公民館運営審議会の会議状況

回	開催日	開催場所	議事案件
1	6.30	中央公民館	<p>ア 議題 (ア) 令和5年度日野市中央公民館(令和4年度事業)の運営状況の評価について</p> <p>イ 報告 (ア) 日野市財政再建計画・第6次行財政改革大綱実施計画 ・個票番号13 公民館運営のあり方の見直し ・個票番号32 旧学校施設の段階的利用中止及び耐震補強工事の不実施 (教育センター 高幡台分室)</p>
2	7.20	中央公民館	<p>ア 議題 (ア) 令和5年度日野市中央公民館(令和4年度事業)の運営状況の評価について (イ) 日野市財政再建計画・第6次行財政改革大綱実施計画 ・個票番号13 公民館運営のあり方の見直し ・個票番号32 旧学校施設の段階的利用中止及び耐震補強工事の不実施 (教育センター 高幡台分室)</p> <p>イ 報告 (ア) 第24回ひのアートフェスティバルの開催について</p>

回	開催日	開催場所	議 事 案 件
3	11.17	中央公民館	ア 議題 (ア) 「一緒に考えようこれからの公民館アンケート」について イ 報告 (ア) 令和5年度中央公民館基本方針、及び重点事業について (イ) 令和5年度日野市中央公民館(令和4年度事業)の運営状況の評価について (ウ) 日野市社会教育施設(一部)個別施設計画策定支援業務委託について (エ) 第2回公民館運営審議会以降のイベント、主催事業の実施状況について (オ) 今後のイベントと、主な主催事業(予定)について
4	3.1	中央公民館	ア 議題 (ア) 令和5年度中央公民館基本方針、及び重点事業について (イ) 社会教育施設(一部)個別施設計画及びこれからの公民館について イ 報告 (ア) 第3回公民館運営審議会以降のイベント、主催事業の実施状況について (イ) 令和6年度当初の予定について

4 公民館保育室の利用状況(10・5・4)

(1) 保育室の利用状況

ア 公民館事業

事業内容	公民館保育付 講座	保育説明会 保育懇談会	計
利用回数	3	1	4
利用延べ人数	13	2	15

※保育援助は事前申込制で、満1歳6ヶ月から就学前まで

保育援助認定グループ

グループ名	おとなの手芸部 (手芸)	はだかんぼう (調理)	ハモレレ (ウクレレ)
利用回数	1	19	8
利用延べ人数	3	57	10
グループ名	子どもへの まなざしママ会 (子育て学習)	虹色親子 サークル (子育て学習)	計
利用回数	10	1	39
利用延べ人数	22	2	94

※ 保育援助は事前申込制で、満1歳6ヶ月から就学前まで

5 公民館だより(10・5・4)

号(発行日)	仕様	主な内容
第175号 (9.15)	A3判二つ折り 4ページ カラー刷り 1,100部	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の紹介 ・サークルの仲間たち「陶花」 ・公民館平和事業 ～市民による平和への祈り～ ・第24回ひの아트フェスティバル開催！！ ・令和5年度 中央公民館講座等事業(9～12月)のご紹介 ・コラム「ねこの足跡」ほか
第176号 (12.31)		<ul style="list-style-type: none"> ・ひのっ子シェフコンテスト開催 ・サークルの仲間たち「日野草笛の会」 ・田んぼの学校収穫祭を実施しました！ ・令和5年度 中央公民館講座等事業(1～3月)のご紹介 ・コラム「ねこの足跡」ほか
第177号 (3.31)		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館まつり ～出会い・ふれあい・学びあい～ ・サークルの仲間たち「はなみずき」 ・青年・成人学級 学級生募集！ ・田んぼの学校 参加者募集！ ・令和6年度 中央公民館講座のお知らせ(4～7月) ・コラム「ねこの足跡」ほか

○日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日

制定

(目的)

第1条 この要綱は、社会教育法(昭和24年法律第207号)第32条に規定する、公民館の運営の状況に関する評価等の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市中央公民館(以下「公民館」という。)は、毎年1回、公民館の運営状況について評価を行う。

(評価の方法)

第3条 公民館は、公民館運営審議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 公民館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 公民館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 公民館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、公民館管理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、公民館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

第29期公民館運営審議会委員名簿

委員長	須崎 奈緒美	社会教育の関係者
副委員長	生島 美和	学識経験者
委員	今尾 恵介	学識経験者
委員	丹間 康仁	学識経験者
委員	松永 式子	学校教育の関係者（令和5年3月31日 解嘱）
委員	小川 真由美	学校教育の関係者（令和5年4月1日 委嘱）
委員	斉野 美紀	社会教育の関係者
委員	諸星 智子	社会教育の関係者
委員	松川 紀子	家庭教育の向上に資する活動を行う者
委員	木戸場 美和	公募による市民
委員	中野 純平	公募による市民
任期	自 令和4年7月 1日	
	至 令和6年6月30日	

第30期公民館運営審議会委員名簿

委員長	須崎 奈緒美	社会教育の関係者
副委員長	生島 美和	学識経験者
委員	今尾 恵介	学識経験者
委員	丹間 康仁	学識経験者
委員	斉野 美紀	社会教育の関係者
委員	諸星 智子	社会教育の関係者
委員	木戸場 美和	公募による市民
委員	中野 純平	公募による市民
委員	伊野 直美	家庭教育の向上に資する活動を行う者
委員	小川 真由美	学校教育の関係者
任期	自 令和6年7月 1日	
	至 令和8年6月30日	

《参考》令和4年度 令和5年度 講座等参加人数

	令和4年度	令和5年度
成人・高齢者事業	4,544	4,167
一般成人、高齢者向け講座	1,171	1,116
公民館映画会	57	56
委託・公民館平和事業	63	145
委託・外国人のための日本語教室	2,647	2,182
委託・田んぼの学校	606	668
青少年事業	911	674
講座	870	624
委託・ひのっ子シェフコンテスト	41	50
ひの市民大学	266	296
講座	266	219
大学連携	0	77
障害者事業	937	1,212
委託・少年学級	369	424
委託・障害者青年・成人学級	568	788
イベント	262	10,300
公民館まつり	262（一部未計測）	4,000
ひのアートフェスティバル	中止	6,300
たま学びテラス事業	462	292
たま学びテラス事業	462	292
シニアICT支援事業	231	461
シニアICT支援（スマホ講座）	231	461
明治安田生命連携事業	52	27
明治安田生命連携事業	52	27
居場所づくり	674	550
居場所づくり	674	550
公民館アウトリーチ事業	422	292
事業	422	292
総 計	8,761	18,271

令和6年度
日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書
(令和5年度事業)

令和6年9月
日野市中央公民館

〒191-0011
東京都日野市日野本町七丁目5番地の23
電話 042-581-7580 F A X 042-581-2110